

経済経営学部 経済学科

教育理念、人材養成の目的、教育方針(三つのポリシー)

教育理念

- 【経済経営学部】 生涯学び、成長し続けられる人材の養成をとおして、誰もが活躍できる社会の構築と発展に寄与する。
【経済学科】 経済学の視点から多様な価値を見いだす力を身につけた人材の養成をとおして、持続可能な社会の実現を目指す。

人材養成の目的

- 【経済経営学部】 広い知識と視野を持ち、他者と協働して課題を発見し解決することを通じて、健康な社会及び健全な組織の実現に貢献できる人材を養成する。
【経済学科】 経済学を中心とした知識と技能を身につけ、現代社会が抱える課題を解決し、新たな価値を創造できる人材を養成する。

1. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)

- 【経済経営学部】 本学部及び各学科の人材養成の目的に沿って、各学科で示されたディプロマ・ポリシーの要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学位を授与する。
【経済学科】 人材養成の目的に沿って、以下の要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学士(経済学)の学位を授与する。
(知識・技能)
(1) 持続可能な社会を実現する一員として必要な幅広い知識と技能を備えている。
(2) 経済学を中心とした専門知識と技能を備えている。
(思考力・判断力・表現力)
(3) 新たな視点で課題を見だし、データに基づき分析する力を身につけている。
(4) 物事を多角的に捉え、課題を解決する力を身につけている。
(5) 分析、発見した知見を文章、プレゼンテーションなど、多様なメディアで表現する力を身につけている。
(主体性・多様性・協働性)
(6) 自己を理解し、主体的に行動することができる。
(7) 自分と異なる他者を理解し、尊重することができる。
(8) チームで協働し、課題を解決することができる。

2. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

- 【経済経営学部】 本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を養成するため、各学科でカリキュラム・ポリシーを定める。
【経済学科】 (教育課程編成)
人材養成の目的を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成する。
また、学生の履修を支援するため、シラバスとともに科目間の連携や学修の順序をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリー、履修モデル等で明示する。
(1) 視野を広げ、知識への好奇心を高めるとともに、アカデミック・スキルを育成するために、「一般教育科目群」を配置する。
(2) 自ら情報を収集・分析し、根拠に基づき解決策を提案する力を育成するために、「データサイエンス・AⅠ科目」を配置する。
(3) 自己を内省し、他者と協働する力を養うために、「リーダーシップ・キャリア形成科目」を配置する。
(4) 経済学の基礎理論と、理論を実証するための手法を学修するために、「経済基幹科目」を配置する。
(5) 経済の仕組みを学び、経済学の視点から課題を発見し、解決する実践力を養うために、「経済専門科目」を配置する。
(6) 社会の変化に対応できるよう、経済に関連する幅広い知識や技能を修得するために、「展開科目」を配置する。
(7) 目標達成や課題解決に向けて自らの役割を果たす力を育成するために、「演習科目」を配置する。
(学修方法)
(1) 持続可能な社会の実現に向け、経済学分野について基幹科目から専門科目までを段階的に学びつつ、関連する分野についての学修を深めることで専門知識・技能の修得を目指す。
(2) 多様な人々と協働する力、自らの考えを表現・発信する力、自ら踏み出す力を育成するために、能動的学修を促進し、データに基づくプロジェクト学習プログラムを実施する。
(学修成果の評価)
(1) 授業の到達目標に対応した評価方法を導入し、教育方法の改善及び厳格な成績評価を行う。
(2) ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況を確認するために、卒業研究を実施し、総括的評価を行う。

3. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

- 【経済経営学部】 本学部では、ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を身につけている学生の育成を目指し、各学科でアドミッション・ポリシーを定める。
【経済学科】 経済経営学部経済学科では、健康な社会及び健全な組織の実現に貢献しようという意思と以下の能力・意欲を持った人を広く受け入れる。なお、入学者選抜においては、多様な選抜方法により、多面的・総合的に評価する。
・経済学科が求める学生像
(知識・技能)
(1) 高校3年間を通じて幅広い学習を行っており、特に、英語・国語・数学に関して基礎的な知識・技能を身につけている人
(思考力・判断力・表現力)
(2) 物事を多面的に捉えることができる人
(3) 自らの考えや意見を述べるができる人
(主体性・多様性・協働性)
(4) 経験をふりかえり、自分の言葉で表現できる人
(5) 目標を達成するために、他者と協力して行動できる人
(6) 持続可能な社会を実現するために、本学科で学ぶ意思を持っている人